

第5回「富士見丘地域における教育環境懇談会」概要

日 時	平成26年12月22日(月) 13:40～15:10
会 場	富士見丘中学校 視聴覚室
出席者	委員 11名(欠席者 5名) 事務局 9名
配付資料	第4回懇談会議事録 資料1 富士見丘地域における教育環境懇談会まとめ(案)
議事次第	1 開会 2 富士見丘地域における教育環境懇談会まとめ(案)について 3 その他 4 閉会

第5回「富士見丘地域における教育環境懇談会」議事録(要旨)

1 開会	
会長	年末のお忙しいところ、ご参集いただきありがとうございます。ただいまから第5回富士見丘地域における教育環境懇談会を開催します。前回は私事で欠席して申し訳ございませんでした。本日は5人の委員から欠席の連絡を受けております。それでは開会に先立ち事務局から連絡事項などはありますか。
新しい学校づくり係長	資料は事前に郵送しましたが、本日の懇談会次第と資料1「富士見丘地域における教育環境懇談会のまとめ(案)」で、前回の懇談会での意見を踏まえ修正した内容になっております。また、前回の懇談会議事録を席上配付しております。不足している資料等はありませんか。なお、本日の懇談会の傍聴者は、現在1名が臨席されております。最後になりますが、この懇談会も本日が最終回ということで、記録用として懇談の様子を撮影しますのでご了承願います。
2 富士見丘地域における教育環境懇談会まとめ(案)について	
会長	他に連絡事項はありませんか。前回の懇談会では、事務局が用意した懇談会まとめ案をたたき台に議論を進めました。事務局がまとめ案全文を読み上げ、その上で委員の皆様から全体の構成や各章ごとに意見をいただきました。全体の構成については特に意見はありませんでしたが、I章の懇談会の設置目的の記載の順番、II章の表現方法やNHKグラウンドの正式名称、IV章の1の表題や表現方法、V章の見出し文や区道の扱い、3の(2)の表題など、たくさんの意見をいただきました。本日は、前回の議論を反映して修正した「富士見丘地域における教育環境懇談会まとめ(案)」を事務局が用意しましたので、前回に引き続き検討を進めていきます。事務局から資料1の説明をお願いします。
学校支援課長	前回はまとめ案全文を読み上げ、多くの意見をいただきました。前回の議論の内容を加味して修正案を作成しましたので、今回は下線を引いた修正部分についての要点を説明します。まず表紙ですが、杉並区教育委員会の上、平成の年月が未記入ですが、懇談会まとめの案が取れたときに入るのので、現在は空欄になっています。次に1頁をお開きください。

	<p>※以下、まとめ案修正部分の説明を記載し、修正部分の文章を読み上げたが、議事録への記載は省略する。</p> <p>「Ⅰ. 懇談会の設置目的と開催状況」、1の設置目的のきっかけは、小学校の築50年を超えた老朽改築と放射5号線等の整備は逆ではないかという指摘がありましたので、修正しました。(※読み上げ省略)次に「Ⅱ. 小学校懇談会まとめの確認」、1の小学校改築案の比較検討では、A案とB案の説明文がありましたが、小学校懇談会まとめに詳細が記載されていますので省略しました。次の2の改築の方向性についてですが、小学校懇談会の意見を付け加えました。(※読み上げ省略)その後の2頁後半から7頁前半は、比較的細かい表現上のことなので説明は省略して、次に7頁をお開きください。7頁後半に「Ⅴ. 今後の取り組みについて」があります。ここは全文を大幅に修正しておりますので、7頁後半から9頁までを改めて読み上げます。(※読み上げ省略)以上です。</p>
会長	<p>それでは委員の皆様から質問や意見をお願いします。各項目に付加すべき事項や修正すべき事項がないか、あるいは、構成はもっとこうあるべきだというような意見がありましたら。確認のために、まとめ(案)の修正部分には下線を引き、今、読み上げて貰いました。まず、全体の構成について意見をいただき、その後でⅠ章から順番に意見をいただきたいと思います。では、目次を開いてください。Ⅰ章からⅤ章までの構成に変更はありませんが、前回の意見により表題を4か所変更しました。全体の構成について、何か意見はありませんか。</p>
委員	<p>Ⅳの3の高井戸公園の利用についてですが、高井戸公園という名称はあくまで仮称なのではないですか。</p>
都市施設担当係長	<p>都市計画上の名前です。</p>
会長	<p>全体の構成は他にありませんか。それでは、1頁からお願いします。1頁のⅠ章は、「1. 設置目的」の(1)で設置目的の記載の順番が違うという指摘があり、見直しましたがどうですか。また、「2. 開催状況」は、本日の開催が決まりましたので、日付を入れました。よろしいですか。それでは、Ⅱ章ですが、説明文の次に資料名を追記しました。また、「1. 小学校改築案の比較検討」は、説明を詳細に記載していたが、資料添付で補えるために要点だけにしました。</p>
委員	<p>実際のまとめが冊子になるときは、追記した資料は文章との間に入れるのか。それとも、本文の後に別添として付けるのか。</p>
学校支援課長	<p>本文の後に別添として付けます。</p>
会長	<p>資料編として本文の後に付けるということです。次に、「2. 改築の方向性について」ですが、「意見交換をし」と説明していますが、意見が記載されていないので追記しましたが、どうですか。それでは、「3. 小学校懇談会まとめに対する意見」ですが、大きく修正したところはありません。指摘により表現の見直しや名称を修正しましたが、どうですか。それでは3頁のⅢ章ですが、前後の他の章で記載されているので、重複する部分を省略しましたが、よろしいですか。次にⅣ章です。大きな修正はありませんが、表題2か所と文章の表現を</p>

	見直し、5頁の(2)の教育面についての5番目の意見を3番目に並び換え、資料名を追記しましたが、どうですか。
委員	他の委員から以前に出た意見で、4頁の(2)の最後の○で、「小学校の学区域は東西に長く」というあたりですが、確か「登校時はほぼ活動ができているが、下校時はそれぞれ仕事の関係もあり」と、これはこれで正しいと思うが、これはあくまで地域住民が協力するという観点のフレーズです。他の委員から、朝は皆一斉に通うのだからいいが、下校時は子どもたちが分散的に帰ることになるから、登校時と下校時では少し観点というか、留意すべき点が違うこともあるのではないかというような意見があったように記憶しております。もしそういう意見があり、かつ、それが割とまとめて書いておくべきことであつたら、何かうまく表現して記載すればいいのかと思いました。
委員	新入生の入学間際は、10時か10時半くらいに終わり、最初の1週間くらいは午前中に帰れる。それが学校生活に段々慣れてきて、給食も翌週くらいから出るようになると12時半か1時くらいに帰るようになり、本来の授業時間になると最終的には2時半くらいの下校になる。通学安全指導員は一定の場所に固定して見守っているが、学校支援隊としての行動は、隊員が活動できる時に通学路を巡回するという事で、要は活動できる時間に通学路を巡回することで、子どもたちを見守っているということです。
委員	下校時は、子どもたちの下校時間がまちまちになることもあり、学校支援隊はこのような状況を前提に活動している。
委員	なるべく低学年の下校時に重点を置いて活動している。
委員	そのような地域の協力や活動のことで、子どもたちの実態に合わせて表現できていると一層わかりやすいと思いました。
会長	4頁の(2)の5番目の○ですが、副会長どうですか。小学校の子どもたちの下校時間は、大体どれくらいの時間帯になりますか。
委員	朝の登校時ならスクールバスも1台というか、集中的に手配できるが、下校時の帰りにどうするかということでは。
副会長	確かに4月は2週目あたりまで1年生の下校時間は早い。1年生は年間を通じて下校時間が早く、4月には確かにいつもと違う対応をする期間があります。
委員	通学安全指導員と1年生がグループになり、集団で下校しています。
副会長	集団下校の引率をお願いします。教員も入学当初は引率したりしているので、下校時はそういう時期があり、登校時は大体決まった時間でいけます。
委員	低学年と高学年ではかなり違いますか。
副会長	違います。
委員	スクールバスに「すぎ丸」を活用するにしても、もしやるとすると登校時は数台出せば対応できるが、下校時には数台で何回かに分けることが必要になる。要するに、子どもたちの下校時間帯が違うということです。
副会長	確かに時間帯、学年ごと、あるいは低、中、高学年というか、主に低学年ですが、下校時刻は時間帯により、曜日により、また低学年だけでなく中学年も違います。そのように下校時はかなり幅広くなり、そういうところも含めて何かフォローしてくれる配慮がほしい。どの学校でも同じ状況にあると思うが、

	特に富士見丘小学校は通学距離が遠くなることで、遠距離通学の子どもたちに対する配慮を検討する必要があることをまとめに記載してほしい。
新しい学校づくり係長	学年などによって、下校時間がまちまちになるということを踏まえ、まとめ案にある内容を基にして、下校時の対応も1つの課題であるということを盛り込むように検討したいと思います。
会長	やはり1年生と6年生では随分違うし、時期的な部分などでの配慮が必要になると思います。他にはどうですか。
委員	3頁のIV章の1の前文ですが、数字の部分で「上高井戸一丁目地域の児童45名が」というところは資料もつくようですが、45名というのが平成何年の実績か括弧に注記してください。コンスタントにこの人数ではなく、ある年だけの数が具体的に出ているので、いつなのかわかるようにしてほしい。
会長	上高井戸一丁目地域から世田谷区立小学校に通っている「45」という数がいつのものかということですか。
委員	少し戻りますが、2頁の3の3番目の○で、「富士見丘通りを通行することなく、安全に通える通学路の確保が必要である」としていますが、これは完全に通行することなくということができますか。できるだけという感じでなくて、完全に富士見丘通りを通行することなくと言いきっていいのか心配です。
学校支援課長	まだ高井戸公園の整備が終わっていないので、どうなるかはわかりませんが、通らなくても通学路が確保できるようにということだったと思います。
委員	希望ということですか。
新しい学校づくり係長	その通りです。自動車通行量が多く、児童の通学に非常に危険ということで、皆様の意見の内容が「できるだけ通行することなく」というような発言だったかと思いましたので、このように表現させていただきました。
委員	「できるだけ」とか入れなくて良いのかということですか。
新しい学校づくり係長	確かにそうです。
委員	確かに、富士見丘通りに面して住んでいる人もいますので、完全に通行しないのは無理です。現在は、NHKグラウンドと住宅の間の細い道路を通学路にして、できるだけ通らないようにしているが、富士見丘通りに面している子どもたちも何人かいるので通っている。できるだけということの良いのでは。
会長	富士見丘通りというのは、放射5号から北側ですか。どこまでですか。
委員	20号に当たるところまでが富士見丘通りです。
会長	甲州街道にぶつかるまでが富士見丘通りというのですか。
委員	懇談会で考えているのは、放射5号からですか。
委員	小学校の正門は富士見丘通りに面しているもので、その辺からと思っていた。
学校教育担当部長	正式に富士見丘通りの説明が公文書としてあるわけではない。通称として使われているだけで、正式に区間設定して告示とかしているわけではありません。
委員	まとめで最初に富士見丘通りと記載したところに、括弧書きでどこからどこまでと認識して議論しているということを明らかにしたほうが良いのでは。
委員	正式には何て呼ぶのか、区道何号線とかあるのですか。
委員	通称でもいいので、どこからどこと定義してはどうか。

都市施設担当係長	区道としての正式名称は数字です。特別区道第何号線としています。通称名を区では特別に定めておりません。
学校教育担当部長	要するに、この中学校の前を通っている道路という意味で使っているということなので、それが甲州街道から放射5号線からかということ、ここで決めなければいけないことなのか。それとも、中学校前の通りを通学路として使うという程度の表現でいいのか。
会長	今は放射5号線から富士見ヶ丘駅前のあたりなら、あまり関心はなくてどうでもいいという感覚ですが、小学生が上高井戸から移転予定地まで通うには遠いため、子どもたちは斜めに来ないとほかに通る道はない。
委員	なるべく富士見ヶ丘通りを使わずに、畑の中や住宅街の中を通っている。
委員	多分、通学路の扱いにはなっていない道を通っていると思う。
委員	ただし、多くの中学生は富士見ヶ丘通りを使っている。
会長	あとは、甲州街道の上高井戸から車がよく裏道を通って来る道です。
委員	小学生は正門を使わないので、富士見ヶ丘通りは通りません。
学校支援課長	放射5号線から甲州街道の途中までの一部は通学路ではありません。
副会長	今の場所に小学校があれば、富士見ヶ丘通りを通らずに宝陽幼稚園の側から入って来ます。あるいは、放射5号線沿いというか、高速道路下の道路の側道に出て来るといった方法を取っています。将来的に通学路がどの道路になるかということは、今のところわかりません。
委員	懇談会での定義付けをどこかに括弧書きする。富士見ヶ丘通りも通称であるなら、それはどこからどこまでを懇談会では位置付けているというのは、正式名称ではなくても必要なもので、まとめの一番最初に富士見ヶ丘通りの表記が出てきたところに定義があれば親切ではないか。放射5号線とか甲州街道というのはわかっているので、富士見ヶ丘通りだけを定義する。人により認識が異なると、まとめの読み方や理解が違ってきてしまいます。
学校支援課長	セットバックの問題は、中学校に接した部分の通りだけですが。
新しい学校づくり係長	富士見ヶ丘駅の踏み切りから放射5号線までの、この間をイメージして議論してきたという認識もあったと思います。
委員	そうだとしたら、そのように定義すればどうですか。
会長	そのように定義したほうがいいですか。であれば、富士見ヶ丘駅から放射5号線までの間が富士見ヶ丘通りという定義があればいいかもしれないです。
委員	線路の北側というのは、富士見ヶ丘商店街通りとか言っている。
学校支援課長	通称が違うのですか。
委員	違うというよりも、商店街の関係者は商店が入っているところは全て富士見ヶ丘商店街通りと認識しています。今のことに関連してですが、この表記として「富士見ヶ丘地域における教育環境懇談会」になっているが、どこにも地域の範囲や該当地域の図がありません。小学校懇談会では色々な説明があったが、今回の懇談会には中学校関係者なども加え、懇談会としてどこを範囲とし、どう考えて作ったかというのは、図があったほうがやはりわかりやすいというか、認識がしやすいと思う。その図に富士見ヶ丘通りも入っていれば、そういう資料が添付されていけばわかりやすいと思う。

学校支援課長	明確にしたものではなく、ある程度緩いほうが、要するに富士見丘地域のおおよそこの辺りというほうが縛りがなくてやりやすい。都市計画みたいは何丁目何番から何丁目何番までというようなことではないと思います。
委員	例えば、今、話し合っているのは、中学校の土地と隣の王子製紙の社宅や高井戸公園の辺りを考えて、このまとめ案が出てきているわけです。ですから、そういった案が出てきている場所はこの辺りですよというのがあってもいいのかなというように思ったのですが。
委員	現実的には懇談会で、環境とか、登校の際の方法とかということも議論しているのですが、この富士見丘地域というのを大きく言うと、小学校の学区域という意味になるのでは。八幡山駅の向こうから、小学校に通って来る子どもたちがいて、その子たちの安全安心をどうしようかということも含めての議論なので、もし地域を図示するのであれば、小学校の学区域とか、中学校の学区域までも含めて、全部を地図か何かで表していいのかもしれないです。
委員	目次の1の前に序文というか、何か富士見丘地域というのはどこを言っているということを前文みたいな形で入れる。表記の問題でいえば、富士見丘に「ケ」がないのは小学校と中学校の学校名で、富士見丘という地名はなく、「ケ」が入るのは駅名だけです。このような表記も誤植だと思われるのは嫌なので、誤植ではないという意味で、この懇談会が富士見丘地域というのはどこのことを言っているのかということをはっきりさせる。小学校の学区域や中学校の学区域と隣接する辺りも含めているというような、何かただし書きみたいなものが一言あると、そこで表記も違います。「ケ」のあるなしも含めて何か序文で書いておいてもらえると、設置目的の前に表記してあればいいと思います。
学校支援課長	まちづくりは、結局そのにじみ出していく部分があるので、どこからどこまでと明らかにせずに、おおよそがいいと思います。
委員	折角の意見です。まとめに資料を付けるなら、学区域が入っていないので、小中学校の学区域と場合によっては高井戸小学校の学区域も入った図が資料があれば、この3つの学区域の図で、「この辺りを中心としたエリアを富士見丘地域と今回は考える」というような注釈が入っていれば誤解がない。それから全体の地図がないのも、折角だからどこかに地域全体がわかる地図があるといい。詳しい図は付けないだろうから、今回の資料はあくまで要約でいいです。
学校支援課長	井の頭線の線路から南の図がランドデザインで描かれています。この辺りが富士見丘地域という感じですが、南端は甲州街道までか放射5号までか。
委員	折角だから、資料として学区域の線を入れればいいが、学区域だけを対象にしているように受け取られると困るので、学区域を中心としたエリアみたいな感じで示せば、理解が早くなるのではと思います。
学校支援課長	今回は、小学校だけでなく、中学校も検討対象ですから、その両方が入った図を資料として入れることで、少し工夫してみたいと思います。
会長	懇談会の設置目的ですが、小学校懇談会は教育環境の変化があり検討が進められ、中学校の隣地への移転改築で小中学校の一体的整備を目指すべきであるとの方向で一致した。今回の懇談会は小学校懇談会の結果を受け、中学校関係者などを加え懇談会を設置して検討を進めたが、学区域という定義は明示され

	<p>ていない気がする。小学校懇談会でも学区域の議論があったわけではなく、今回の懇談会も中学校関係者などが入り、富士見丘地域というのが議論されていない気がする。そのことは今後の課題として、次に検討する時は中学校の学区域、小学校の学区域ということも考えなければいけないと思うので、その辺りも含めて今後の検討課題としなければいけない内容の1つだと思います。全体のニュアンスとしては、こういうところの地域というイメージで載せていくことでよろしいですか。では、そのように処理してください。他にはどうですか。なければ、続いて7頁です。V章に入りたいと思いますが、前回、一番多くの意見をいただきました。全文にわたり下線が非常に多いが、その辺りは前回の意見を反映してわかりやすく見直したということで、事務局から説明がありました。どうですか。多くの意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>表現の問題なので別にこだわらないが、6頁の高井戸公園の(1)の最初の地域自治についてで、地域の住民であれば、「巻き込む」と言われるよりも、「力を借りながら」などと表現されたほうが、読んだときに感じがいいと思います。</p>
学校支援課長	<p>6頁の(1)の最初の○の、「地域住民を巻き込みながら、そのような機運を醸成していく」は、「地域住民の参加を得ながら」でどうですか。</p>
会長	<p>高井戸公園の利用の(1)の最初の○の後半部分は、「地域住民を巻き込みながら」というところを「参加を」という表現にします。</p>
委員	<p>前回よりも資料の添付、図や地図などが入ったことで、文だけとは違ってすごくわかりやすくなったと思います。</p>
委員	<p>V章のところがいいのか、どのように記載すればいいのかわからないが、最後にB-2案を前提として企業用地の取得が可能になったときに、どのくらいのスケジュールになるのか。懇談会の途中で議論があったと思うが、他の計画の和泉学園においても、特に区民や周辺住民の参加を得ながら、かなり手間隙をかけ数年がかりで検討したと思う。それをどう表現したらいいのかわからないが、結局、何を言いたいのかというと、保護者などが来年あるいは再来年にこういうまとめを見たときに、順調にいったとしたら概ね一体いつごろなのか。3年先なのか、5年先なのか、10年先なのかみたいな、おぼろげな仮定がいくつかいると思うし、場合によっては、杉並和泉学園では種をまいてから7年かかりで実現しているという例でもいいと思う。それが今はまだ小学生ではない保護者というか将来の保護者や子どもたちに、自分たちの問題であるとか自分たちの問題でもあると思わせる必要がある。しかし、今の保護者に責任はないとは言わないが、何かその辺の時間軸が少し読めるようなものがあればいい。ただし、確定的なことは言えないだろうから難しいと思うが、仮に企業用地の取得が決まったとして、その時点スタートとしたら、概ね5年から7年くらいかかるのか、何かそういう表現ができないか。どこに記載すべきがよくわからないが、場合により「なお書き的」でもいいと思います。そうしないと、まとめ全体を読んだときに特に保護者は疑問に思うのではないかと。学校関係者はいいが、保護者は明日なのか何時なのか問題にする。保育所の保護者などはうちの子が対象なのか、いつ改築するのかと、すごく気にすると思います。</p>

新しい学校づくり係長	今回の懇談会では、スケジュールの資料は使っていないが、小学校懇談会では資料があったと思います。委員の意見は、企業用地取得という条件が整い、小学校を移転して中学校と一体的整備が可能になりますよという段階からどのくらいの年次が必要かということを示す。例えば、基本設計、実施設計、校舎の新築・改築工事が何年みたいなことであればできます。現状ではスタートの起点を書けないことが難しいのですけれど、通常ですと条件が整ってから、4年なら4年、5年なら5年で一応竣工しますという表現がわかりやすく盛り込めればという理解でよろしいですか。
委員	条件が整ってからという程度でいいと思う。その条件がいつ整うということは、今は書けないだろうから。
学校支援課長	IV章、3、(2)の6番目の○に、「学校の移転スケジュール」と簡単にふれている。この中身が必要との意見だが、表現できるか難しいが検討します。
委員	今回は、今後の取り組みというところであまり明確に書いてしまうよりは、なお書き的に完成までに時間が結構かかるという程度で、ここのほうが落ち着きがいいかなという気がします。
学校支援課長	学校スケジュールに、飾り言葉を入れる形で設計から建設まで4年かかりますとか、そのような感じで表現できるかと思います。
委員	保護者はもちろんとして、地域住民とも意見交換などを行うみたいなことを入れておいてくれればいいという気がします。
学校支援課長	工夫させてください。
委員	全く別の話になってしまうかもしれませんが、今回、懇談会の開催を重ねてきて、区民というか、地域住民にどんな形で情報提供するのか、提供の仕方というか、「まだそんなことは話してはだめ」とか。過去の例からすると、勝手にある程度の情報が先行してしまい、「いつやるの」という話が今言われたような形でもって、散々言われてきました。町会においても、それから子どもたち、あるいは地域住民、色々な見守りを町会の人に頼むとか、住民に頼むことも踏まえながら、ある程度の話をして協力を願うような形をとっていきたいと思っています。そういうことが、移転改築がだめになってしまったとか、かなり先の話だとかというのでは、少し説明のトーンも下がってしまう気がする。
学校支援課長	まず、企業用地がいつ買えるのか。買えるかどうかはわからないが、そこが一番のポイントになります。やはり相手方もあることなので、区のほうでいつというのは言えません。先方に対して失礼になるので、まずそこは見守る形になると思いますが、先方が「協力します」ということになった場合には、また区としても地域に入り皆さんと話し合いをしていく必要があると思います。
会長	今の話のように、委員の意見にもあったように、今の1年生が入学するときに、保護者から学校の移転改築はどうなるのかという質問がありました。学校としては、「今の1年生には、まだ全然関係のないこと」というように答えています。結局、今回の1年生で学校選択制がなくなるので、一応は学区区域ということで中学校は動いていくことになるので、その辺りはまた違ってくるかと思っています。今の1年生までは学校選択制があったので、学校を選択することができることから、そういう質問が出てきたと思います。また、以前にも教育委

	員会に依頼したが、今も王子製紙の社宅に実際に住んでいる生徒がいるので、その辺りの表現が難しい部分もあり、もう何人か住んでいないところもあるが、まだ住んでいる方々もいる。その辺りの動きも非常に学校としては気になる場所ですので、ぜひその辺りはまた検討してもらいたい。他にどうですか。
委員	7頁の下から4行目の「将来の児童」の後ろに、「・生徒」も入れたほうが良いと思うが。
新しい学校づくり係長	「将来の児童」の前に「現在の児童・生徒の保護者だけでなく」というように記述していますが、この「将来の児童の保護者」は、現在は未就学児を育てている保護者を想定しています。そのような保護者にもやはりきちんと内容を伝えていく必要があるということで、このような表現を取りました。
委員	現在の児童の保護者は将来の生徒の保護者になるということですか、そこまで考えるということですか、わかりました。
新しい学校づくり担当係長	計画はまだ少し先なものですから。もし、未就学児というような表現のほうがわかりやすいということであれば、同じ意味合いで書いていますから。
会長	「児童の」を取ったほうがかえってスッキリして、どこでも合うのではないですか。「将来の保護者」ということで十分では。
委員	そうですね。何かさっと読んだときに、将来の中学生の保護者の意見が抜けているように感じた。そのように読み取ってしまったからです。よく考えれば、確かに現在の児童の保護者が将来の生徒の保護者になるということは、そこまではあまり深く考えずに読んでしまいました。
委員	将来のスケジュール的なものはどうするのかと思いました。それと同時に、今度の場合は東京都の公園なので、東京都が公園の利用に地域住民との話し合いとか、そういう場を作って検討されるのか。公園の利用と地域住民とのかかわり、学校建設における地域住民とのかかわり、そんなものの両方が可能ですか。そうすると、一方的にこちらだけが要望しているということですが。
新しい学校づくり係長	実際に着手する段階になったとき、今回の懇談会で協力いただいている委員以外にも、もう少し幅広く委員を入れたいと考えています。具体化に向けては、意見を聞くような方向になると思いますが、例えば、そういう場に区が東京都の公園管理者とかと協議していく場面で、これはあくまで希望になりますが、例えば、東京都の担当者に懇談会に出席いただき、想定している学校の利用だとか、安全管理はこういう点を重視したいだとか、そんな話を一緒に聞いていただければ、委員の発言のように、そんな場を作れるのではないかと考えて聞いていました。できるだけそういう機会を作りたいと考えております。
委員	東京都との話し合いの場ができるよう要望するようなことを書いておいたほうが良いかなという気もしたのですが。
新しい学校づくり係長	まとめの中にそのような要望を書き込むことも必要かと思いましたので、検討させてください。
会長	東京都の公園も整備されて防災機能を拡充するので、区だけの問題ではないということ、ぜひ考えてください。
副会長	このまとめにかかわるかわからないが、今の発言に関係するかもしれないのでよろしいですか。昨年の富士見丘小学校教育環境懇談会で、B-2案の方向

	<p>に進んだと思ったときのきっかけは、小学校が中学校の隣に移転することでした。そのために企業から用地を買い取ることや都立公園の利用に関してもというときに、移転の話もはっきりわかっていないのに、色々なことを交渉できない。だから、B-2案になるのであれば、そうしたら企業に対しても用地買収の話が進めやすくなる。それがうまく進まなければ、B-2案ではなくてA案になるようなニュアンスがあったと思っている。例えば、そのタイムテーブル的にこれがB-2案でということになったときに、企業と用地の買入れについての期間などは、わからないところで行われていることになるのかもしれないが、そういったときに用地買収ができるかできないかというのは、まだわからないわけです。要するに小学校が引っ越すとか、そういったこともあるということ想定してのB-2案になってくる。そのときに、やはりある程度どの辺のスパンでそういうことが過去の経験として、行政と企業の用地というのは大抵は、大体過去の例からどのくらいのスパンでそういうことがわかるのか、そういったニュアンスというのは出せなかったりするのか。例えば過去の例で、区が下高井戸の企業グラウンドを買ったということが過去にも報道されたと思うが、そういうことは、話がまとまり契約もうまく進んで報道発表されると思っているが、場合により話が流れることもあるし、うまく進むかもしれないというところの判断ですか。</p>
学校支援課長	<p>去年の小学校教育環境懇談会のまとめについては、もう相手方の企業に渡しであり、現在は地域の方や学校関係者と教育委員会で検討しているということは伝えてあります。それで、区としては買いたいということは、伝えてありますし、今は企業内のことなので、それをこちらのほうでスパンが1年になるとか、2年になるということは、なかなか推測するのは難しいと思います。</p>
副会長	<p>では、去年の懇談会の結果を持って、買いたいということを申し入れているということは動いているということですか。</p>
学校支援課長	<p>もうボールは投げてあります。</p>
新しい学校づくり係長	<p>現在も社宅に居住者がいるので、やはり順調に話しが進んだときには必ず退去の期限がという話になるので、その辺の兼ね合いというところが、副会長の発言のようなスパンというところになってくるのかと思います。</p>
副会長	<p>そうです。要するに今はまだ住んでいる方もいるから、その辺は載せるわけにはいかないのだと、そのようなニュアンスということ。一応、もうお願いはしてあるということで、わかりました。載らなくてもいいのですが。</p>
委員	<p>相手が企業だと微妙なところがあると思うが、東京都が相手であれば高井戸公園は優先整備区域になっているわけだから、都と区なのでその部分は多少は積極的に先行して、企業よりは簡単に進められるような気がします。</p>
学校支援課長	<p>当然、東京都にも去年の懇談会のことは伝えてあるし、区が企業用地を買収して小学校を移転改築したいことや、高井戸公園を校庭等に利用したいことも含めて、都が公園の整備をする中で考えてほしいということは申し入れてあります。申し訳ありませんが、今日は担当の都市計画課長が欠席のため、都の整備計画をきちんと話すことができません。</p>

委員	東京都が高井戸公園に何をどういう機能をつけたいと思っているのか、まとめにも「防災機能の向上を大きな方針としている」と7頁の4つ目の○に記述されている。その部分をうまく交渉することで、区は見込みとして公園を活用していけるみたいなことが何か盛り込まれているといいかなというか、スケジュールのことは全くはっきりしていなくても、東京都とだったらうまくいきそうとか、そのようなことも書けないのか。企業はわからないにしても。
新しい学校づくり係長	もちろんこの案は、東京都にも当然に話してあるし、例えば、校庭としての使い方というところも伝えているので、実際に企業用地が最終的には買えたということになれば、もう具体的にそこから話が進むと思うし、既に基礎はできているのかなと思っています。何分その辺の条件がまだ整わないということもあり、都でも結果を待っているという状況なのかということなのです。
委員	やはり企業用地の取得が先ですか、都との交渉には前提として必要なのか。
委員	問題が複雑になってきてしまったが、単純に東京都は公園の位置づけが近隣公園とか区がつくる公園とは違うので、割合に都の考え方で公園を作ってしまう。高井戸公園のように地域に密接に関係があるような公園の作り方としては、地域との話し合いの場を持つとか、そういうことをまとめに書いておいたらどうかという程度です。そうでなければ都の考え方であまり密接に話し合いの場を持つということにはならない状況が推測できるので、それを気にしているということです。今回、特別な要件も入るので、ぜひ話し合いの場を持つことを期待したいとか、何かそういうことを書いておくことが必要だと思います。
会長	具体的にはまだ先の話だと思うので、それ以前の問題としてということですか。一応、都の公園が隣接するというところもあり、今までとは少し違うところがあるという部分で、その辺りを少し触れておいてということだと思います。よろしいですか。今回のまとめで随分わかりやすくなったところが増えたように思います。その他に何か意見は。先ほども地図などが必要という意見もあったが、何か添付したほうがいいというものがありますか。
委員	富士見丘地域という捉え方で、先ほど線路から南という発言があったが、富士見丘町会あるいは商店会からすると、中学校には線路の北側から来る生徒もいるので、地図が大きくなってしまってもいいかもしれませんが、できれば人見街道辺りから入っていれば良いと思います。
学校支援課長	中学校の学区はありますから、そこまで含めれば良いのかと思います。
会長	富士見丘地域として全体を入れるということですか。それでは時間の関係もあるので、このあたりで議論を閉じたいと思います。本日、事務局が用意したまとめに対して、例えば、登下校の時間、特に下校時間がまちまちであるということで、その辺の実態を含めた表現にすることや、上高井戸一丁目の45名が何時時点の人数なのか付記すること。また、富士見丘通りの通行に関するところで、改めて富士見丘通りの定義が必要ということでした。それから、今後のスケジュールについても、色々な憶測が及んでいく部分もあるが、簡単に当たり障りなく表現ができたということもありました。実際に地域の中でも声は色々聞くことがあり、学校にも保護者からの意見等もあるので、簡単なおおよそのイメージというか何かそういうものが付けられればという発言もありま

	<p>した。また、都の公園が隣接していて、今までの和泉地域や高円寺地域とは違う部分が富士見丘地域にはあるので、そのあたりは都への要望も含めて何か投げかけるようなものがあったらいいという発言もありました。そのような部分を加味して、事務局でまとめの修正が必要だと思います。議論的にはまだまだ言い足りない部分のある委員もいると思いますが、今回の懇談会で最終回になりますので、そのあたりは事務局の修正に任せてください。まとめの案が取れるまでは、事務局から各委員に修正したまとめをお送りしますので、再度、意見があるか確認いただくという方法でよろしいですか。</p>
副会長	<p>確認させてください。会長の話のように、時々何かのときに地域の方から「富士見丘小学校って引っ越すんだって」と聞かれることがある。でもそのときは、うっかりしたことは言えないと正直思っているの、今はまだ、この教育環境懇談会で話し合っているところです」と今までなら答えていた。今後においても、「移転案はあるけれど、区がこれからも企業や東京都との交渉もあるから、まだ確定しているわけではない」というように、もし聞かれたらそういう感じで対応するのかなと思うが、これで間違いではないですか。ただ、質問される方によっては、もう既成事実として、「もう引っ越すんだって」とか、あるいは「もう引っ越して建て直すのだよ」みたいな言い切っている人がいるようなことも聞こえてくるが、その辺りは「人の口に戸は立てられず」という言葉もあるが、学校としては要するに、「今こういう案はあるけれど、今はまだ区を通じて企業や東京都との交渉があるから、まだ先のことはわからない話です」というような答えで受けていいということか。</p>
学校支援課長	<p>そうです。要するに、企業用地と中学校のところに小中学校が一体的整備されれば、子どもたちの成育環境にとっていいのではないかとということで議論はされていると答えて結構です。ただ、企業用地の買収は未定なので、今後も少し時間がかかるというように話していただければと思います。</p>
学校教育担当部長	<p>副会長が発言されたように答えてください。多分「では、あその土地を買うのではないか」というような話が出たときには、「それも選択肢の1つとして区は考えている」ということで答えていただければと思います。</p>
委員	<p>企業との交渉期限というのはないのですか。いつまでに返事をくださいとか。</p>
学校支援課長	<p>それはないと思います。</p>
委員	<p>企業の事情もあるでしょうが、ないということですか。</p>
学校教育担当部長	<p>ただ、そんなに答えを無期限に延ばされても困るので、その辺は交渉しながら、あまり時間がかかるようであれば、またお願いに伺うとか、そういったことで努力はしていきたいと思います。</p>
新しい学校づくり係長	<p>昨年の小学校懇談会まとめを作った後に、概要版を作り児童・生徒の保護者に、小学校懇談会で「こういうまとめをしました」というものを配らせていただいたのですが、先ほど委員から話があったように、町会などにもきちんと情報を伝えていくということも必要です。今後において、どういう形になるかはわかりませんが、あまり地域の中で情報が混乱するといえますか、錯綜しないように、何らかのこの懇談会のまとめを基にした内容のものを作成して、地域に幅広く配付できるようなことで、考えていきたいと思います。</p>

会長	<p>そういうことで、ぜひ理解を得るということをお願いします。それでは、まどめの修正は事務局でやり、各委員に送付するということがよろしいですか。委員の皆様にご了解をいただいたということで、この会は閉じさせていただきます。各委員に送ります修正後のまどめに、忌憚のない意見をいただければと思います。よろしくお願いします。</p>
3 その他	
会長	<p>それでは、この懇談会が今日で最後になりますので、各委員から何か一言ずつありましたら、よろしくお願いします。では、委員から順番に。</p>
委員	<p>小学校のときからB-2案にかなり固執して話を進めさせていただきましたが、要はいい環境で子どもたちに勉強をさせたいというのが一番です。ひいてはそれが地域や商店会を含めた地域に貢献をしていくのではないかと。それについて、私としても住民を説得しながら、いい環境を作っていきたいと、その気持ちでいっぱいでございます。よろしくお願いしますと思います。</p>
委員	<p>地域の方々がこれだけ多くの方が子どもたちのために話し合っていたいているということに、すごく感謝しました。今回も色々大変だと思うのですが、うまく実現できたらと思います。以上です。</p>
委員	<p>あまり意見を言うことができませんでしたが、私も下の子が中2なので、新しい学校に通えませんが、素晴らしい学校ができることを願っています。</p>
委員	<p>小中一緒の校舎ができることに伴って、富士見丘小学校の跡地がどうなるのかとか。商店街の今の交通事情がどうなるのかとか。何かそれだけではなく、この辺の地域に防災公園ができることも含めて、今後、すごく杉並区の中で変化のある地域なのだと思うので、これからもいつまでも住み続けるにあたり、とても楽しみだと思っております。</p>
委員	<p>商店街の代表としまして、この会に参加させていただきましてありがとうございます。私も、この地元の商店街が学校の移転改築計画が進むことによって活気づけられるように、このまちが大きく活気づくお手伝いをしていければと思っておりますので、今後ともよろしくお願いしますと思います。</p>
委員	<p>色々不規則発言して申し訳ありませんでした。今日は委員が欠席でしたので、上高井戸地域在住者として言いますと、何か公的な施設がなくなるということは地域にとってすごく大きな事です。小中一貫校が中学校の方にできて、広い公園も使えてとすごく夢があって、どきどきわくわく楽しみなのです。ただ、小学校がなくなってしまった上高井戸地域はすっかり元気をなくしてしまうかと少し心配です。ましてや、そもそも学区区域がすごく変な形ですから、何かすごくあのあたりが取り残され、杉並区だけ何か世田谷区のような感じにますますなるのかという、一抹の不安はあります。今までは小学校と中学校が連携して地域活動を行ったときは、中学校区のほうは富士見丘町会が全面支援し、小学校区のほうは上高井戸町会が全面支援というようにうまくやっていたが、小学校移転後に上高井戸地域の方たちとどういうふうに協力体制を作っていけるかということです。もちろん子どもは住んでいますから通うけれども、学校がなくなるということに対する配慮というのは、多分、情報公開をして地域の方たちにお知らせ版を出すときにも、やはり多少そういう配慮</p>

	がないといけないかと思ひます。反対する人も、もしかしたらいるかもというくらいなことは考えていたほうがいいかなと思ひました。
委員	放射5号線ができる以前に座り込みをして、子どもたちの環境を守ったという歴史を聞いております。今後も学校が移転するときまでは、今のこの場がそのすばらしい子どもたちの学校環境の一步というか、少しでもそれにつながる今日がその一步になればいいと思ひ、懇談会に参加させていただいたことにすごく光榮に感じております。ありがとうございます。
委員	富士見丘小学校の公害の問題もそうですし、放射5号線の幹線道路をどう引いていくか、沿道のまちづくりとか、富士見丘通りの問題とか、色々な場面や局面で地域の皆さんの様々な方々に出会っているのですが、これでやっと解決の方向性が見えてきたと思ひます。今まではどうしようもない、少しどん詰まりな状況の中で非常に苦勞しているが、何とかいい方向に持っていく道が見えてきたので、皆ともう一頑張りしたいと思ひています。よろしくお願ひします。
委員	ありがとうございます。勿論、先程来の土地を買わなければいけないとか、色々なハードルがまだまだ高いこと。それから、今もたくさん課題が残っているという指摘があったわけですが、ハードルは高いし、課題はもちろん色々あります。懇談会としては、小中一貫で一体化して学校移転ということに対しては全員異論がなく、子どもの成育環境向上のためにはそれがいいということで意見が一致したということをぜひ地元にしていただき、どうなるかはまだ確定できないのはもちろんだが、その方向性については皆さんが大変喜ばれて、課題はまだたくさんあるが、「そうなりといいですね」ということで一致したというような雰囲気伝えてくれるのがいいと思ひます。よろしくお願ひします。
副会長	先程から出ていますが、子どもたちの教育環境を少しでも良い方向にする。今から長いスパンで見たときに、どういったものがいいのか。そういったことで、私は昨年から今年にかけて参加してきました。それぞれに良いところ、長所があったり課題があったりします。その中でより良いのは何かということで案が出てきたと思ひます。この先というのが、本当に色々な課題になっている部分で、土地の問題とか色々あるのかとは思ひますが、やはり子どもにとって少しでも良く、それがまた地域にとっても良い形になっていく。そういったものになるのかと思ひています。また、今後において、この富士見丘地域における教育環境懇談会のまとめが、より子どもたちに良い環境を作っていけるようになればありがたいと思ひています。ありがとうございます。
会長	それでは事務局からは何かありますか。
新しい学校づくり係長	特にありません。
4 閉会	
会長	よろしいですか。それでは以上をもちまして、富士見丘地域における教育環境懇談会を終了したいと思ひます。今後、先程も話しましたように懇談会の開催はありませんので、事務局が「まとめ」の具体的な部分を含めて調整させていただき、皆様に確認したいと思ひております。部長、よろしいですか。

<p>学校教育担当 部長</p>	<p>私から最後に一言申し上げます。この富士見丘地域における教育環境懇談会に参加いただき、多くの意見をいただきありがとうございました。先程も話がありましたが、企業用地の取得が未定な中で、この富士見丘地域の教育環境をどうしていくのか議論をいただき、様々な意見をいただきました。5回の懇談会に参加いただきまして、本当にありがとうございました。その中で色々な意見がありましたが、区としても富士見丘地域に対して色々な動きがございます。高井戸公園の整備があり、どういう公園を作っていくのか、これもまたこれからの課題です。また、放射5号線の開通に伴い、どういうまちを作っていくのか、それも現在は区としての検討課題になっているという状況もあります。そうした中で、様々な皆さんの意見があろうかと思えます。色々な意見をいただいて、それを基にまた色々検討させていただきたいと考えています。当然、私は教育委員会の人間ですので、教育委員会としても、この富士見丘地域で皆さんから意見をいただき、B-2案の小中一貫型の学校が設置され、地域に目指した学校となって、よい環境を整備していくよう努めてまいりますので、またこれからもどうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、小学校と中学校が一体的に再整備できるようなことで今後また進めていくと思っておりますので、ぜひまたご理解とご協力をよろしくお願いしたいと思います。7か月に渡り本当に委員の皆様にはご協力いただき、ありがとうございました。これで会を閉めたいと思います。</p>